

平成25年度 学校教育に関するアンケート調査の結果と考察

1 アンケート調査による自己評価と学校関係者評価

(1) アンケート結果のまとめと考察 (○良い点 ●改善が必要な点 △その他)・・・自己評価

① 子ども

◎ 学校生活全般， だいたいの項目において， 昨年度より向上がみられる。

△ 授業中の態度に積極性が出てきている。しかし， まだその割合は65%であり， 高いとはいえない数字である。

△ 「家庭学習をきちんとする」こと， 「忘れ物しない」ことの割合は改善しているもののまだ低い。(71%)

△ 「学校へ行くのが楽しい」と答えた児童が大部分を占める。ただ， 一部の児童は「楽しくない」と答えている。全員が「楽しい」と感じられる学校を目指したい。

● 給食を好き嫌いせず食べる割合が減っているので， 食育を進める必要がある。

② 保護者

○ 本校の教育について多くの方にご理解をいただいております， 全体的に大きな変化はみられない。教職員が挨拶などの生活指導をしていると感じている割合は， 年々増えている。

● 「学校の環境整備」「児童の学習意欲向上」「児童のあいさつや言葉遣い」「保護者の学校行事やPTA活動への参加」に関しては， さらなる取り組みが望まれている。

③ 教職員

○ 学校教育目標の実現に向かって学校運営されている。

○ 全教職員の協同体制が整い協力して仕事ができている。

● 児童の問題行動に対応するよりよい組織作り， 特別支援学級の正しい理解をより推進するための交流活動を考えていくことが必要である。

(2) アンケート結果に基づいた学校関係者の意見・・・学校関係者評価

① 挨拶について

- ・ 大人も挨拶を返す雰囲気を作るとよい。
- ・ 下校時， 少しずつ挨拶してくれるようになっている。

② 人間関係について

- ・ 今は学校でしか集団の中で人間関係を学ぶ場がない。

③ 運動会について

- ・ 運動会は感動的であった。
- ・ 運動会は個々の能力を活かしていく取り組みができていた。

④ サマースクールについて

- ・公民館主催の部分と学校主体の部分を明確にしていくと良い。
- ⑤ PTA 活動等について
 - ・PTA 活動に積極的に関わろうとする気持ちを持ってほしい。
 - ・子どもの見守りパトロールに PTA が参加してくれないだろうか。
- ⑥ 人権について
 - ・人を傷つける言葉についても家庭と協力して指導していくと良い。
- ⑦ 学力について
 - ・学力の基礎（読み書き、九九や足し算・引き算等）を身に付けさせてほしい。

2 今後の学校教育改善方策について

- (1) 校内研修では、授業研究だけでなく教科主任の指導力を生かした研修を重ね、授業力を向上させるとともに分かる授業に努める。
- (2) 学校・家庭・地域の連携をさらに進める。
 - ① PTA 活動の見直しを図り、保護者どうしの繋がりづくりに努める。
 - ② 学校便り・学級懇談・PTA 総会・PTA 役員会などの機会を捉え、子どもたちの現状を知らせ、共に考えていくように努める。
 - ③ 地域を知るために、コミュニティ祭など地域の行事に教職員をはじめとする PTA も積極的に参加する。
 - ④ 地域のコミュニティ紙への寄稿・オープンスクールの実施などにより学校の様子を広く知ってもらおう。
 - ⑤ 総合的な学習や生活科において、地域の人材だけでなく地域の企業とも積極的に交流する。